

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【日浦中学校】

本校では「日浦地区を中心にあらゆる環境問題に関心を持ち、よりよい環境づくりに主体的に取り組む生徒の育成」を研究主題に設定し、「環境について学ぶ」「環境から学ぶ」「環境のために学ぶ」という三つの視点から環境教育に取り組んでいる。



<第1学年：炭焼き活動>

先輩方と地域の方々が作った炭釜を利用して、端材を活用した炭焼き活動を行っている。温度管理が大切で、地域の方から御指導を受けながら、窯に火を入れ、こまめに温度を確認して、丁寧に焼き上げた。今年は飾り炭や家庭で使う炭を作った。



<第2学年：ホタルの保護活動>

ゲストティーチャーを招いて、ホタルの生態を学び、雌雄のホタルを捕獲して産卵させ、毎日えさやりなどの世話をし、幼虫を育てた。毎年、その幼虫を近くの川に放流し、次の年の6月にはたくさんのホタルが舞う、日浦の里を育てる活動を続けている。そして毎年6月には地域の方や保護者、小学生と一緒に、ホタル観賞会を開いている。また、去年から地域の方が中学校の「ほたるのいえ」を整備してくださり、エサとなるカワニナの育成ができるような環境づくりを進めている。



<第3学年：絶滅危惧種指定の地域の花「ヒメユリ」の保護活動>

ヒメユリは種を植えてから球根になるまで3年、花を咲かせるまでに5年かかる。小学1年生と一緒に種をまき、卒業した先輩方が育ててきた苗を引き継いで育てた。去年はきれいなオレンジ色の花が咲いたが、残念ながら今年は花が咲かなかった。来年はきれいな花が咲くことを願い、今後も心を込めてお世話をしていきたい。



<全学年：地域の休耕田を利用した米づくり>

地域の方の御指導のもと、小学生と協力して田植え、稗抜き、稲刈り、脱穀を行い、収穫した米は学校給食で提供している。